

環境経営レポート



発行年月日 2024 年 7 月 3日

有 田 建 設 株 式 会 社

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営目標
6. 環境経営活動計画
7. 環境経営目標の実績
8. 環境経営活動計画の取組結果とその評価
9. 次年度の取組内容
 - （１）環境経営目標
 - （２）環境経営活動計画
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
11. 代表者による全体評価と見直しの結果
12. その他の取組

発行日：2024年7月3日

発行責任者：環境管理責任者 有田圭吾

次回発行予定：2025年7月頃

1. 組織の概要

【事業所名】 有田建設株式会社

【代表者氏名】 代表取締役 有田功祐

【所在地】

本社 〒788-0053 高知県宿毛市坂ノ下30番地3
Tel 0880-63-5226
Fax 0880-63-0037
都賀ノ川倉庫 高知県宿毛市小筑紫町都賀川30-32
湊倉庫 高知県宿毛市小筑紫町湊1-6
伊与野資材置場 高知県宿毛市小筑紫町伊与野宇中スカノ727番地
二ノ宮資材置場 高知県宿毛市二ノ宮

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名 有田圭吾
連絡先担当者 岡野浩史
連絡先 TEL: 0880-63-5226
FAX: 0880-63-0037
E-mail: kooske-arita@ca.pikara.ne.jp

【設立】

昭和28年1月 個人創業
法人設立 昭和61年1月
資本金 2,000万円

【事業内容】

建設業 土木工事業 水道施設工事業
建設業許可 高知県知事
許可番号 特-2 5821
許可年月日 令和2年6月2日
建設業の種類 土木工事業 水道施設工事業 電気工事業 とび・土木工事業 舗装工事業
塗装工事業 管工事業 石工事業 鋼構造物工事業 しゅんせつ工事業

産廃収集運搬業

許可番号 0390019264 (自社施工分のみを対象)

	2021.6.1 ～	2022.7.1 ～	2023.7.1 ～
売上高 (万円)	31,930	20,463	13,024
従業員数 (名)	8	14	10
事業所敷地面積 (m ²)	5,766	5,766	5,766
事業所延べ床面積 (m ²)	490	490	490

従業員数は、6月30日現在

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

有田建設株式会社 （全社 全活動 全従業員）

対象事業： 建設業 （土木工事業 水道施設工事業）



【レポートの対象期間】

2023年7月～2024年6月

【環境経営レポートの発行日】

2024年7月3日

【作成責任者】

環境管理責任者

有田 圭吾

連絡先担当者

岡野 浩史

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲



SDGsNO.	項目	当社対象有無	備 考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に		水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基盤をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO ₂ 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO ₂ 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさも守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

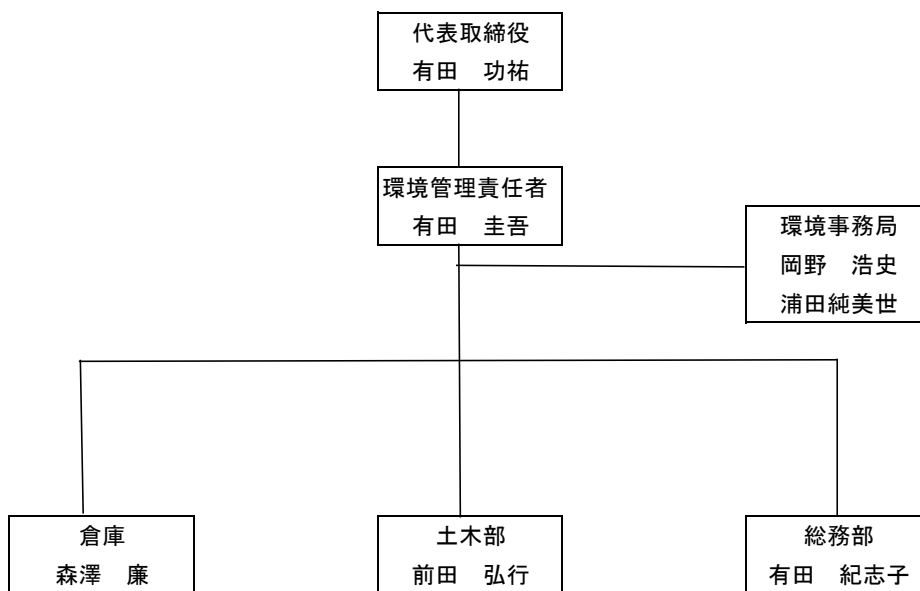
有田建設株式会社は、幡多西南地域を対象に、土木関連事業を通し、地域社会の役割をになっている一企業として、建設工事による自然環境への影響を考慮して後世に豊かな環境が継承できる事を願い通常業務を怠ることなく見直し改善をしながら、地域環境の保全と様々な環境負荷低減活動に積極的に取り組み、継続的改善による環境経営を行っていきます。

【基本方針】

1. 環境対策型製品・工法の検討推進します。
 - *環境配慮型工法の促進
 - *環境にやさしい資材等の使用
2. 建設工事における騒音・振動の低減に努め、安心社会を構築します。
3. 社会貢献活動（ボランティア）に取り組み、地域保全を構築します
4. 二酸化炭素排出量の削減に努め、低炭素社会の実現に寄与します。
 - *重機・一般車両の使い方を工法し燃料使用削減します
 - *事務所内の電気機器の使い方を規定し電気使用量を削減します
5. 水資源使用量を削減します。
 - *使い方・棄て方工夫
 - *節水努力
6. 産業廃棄物・一般廃棄物排出量の削減に努め、循環型社会の実現に寄与します。
 - *リサイクルできるものの分類管理（紙・金属類）
 - *リユースできるものの分類管理（機器類）
7. 建設建材・事務用品のグリーン購入を推進します。
8. 環境関連法規制等を遵守します。
 - *環境関連法規制等一覧表の整理
 - *毎年最新の法規へ更新
9. 環境活動への意識の向上を計ります。
 - *環境関連法規読み合わせ等従業員への周知
 - *環境経営レポートの報告など（評価、見直し、更新）

2024年7月3日
代表取締役 有田功祐

4. 環境経営組織体制



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・ 環境経営システムの評価と見直しを実施 ・ 資材(設備、費用、時間、人材)の準備 ・ 環境管理責任者、事務局員の任命
環境管理責任者	・ 環境経営に関するシステム運用責任 ・ 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認記録 ・ 環境管理システムの立案・構築・実施・管理 ・ 環境経営の取り組み結果を代表者へ報告 ・ 教育・訓練の計画・実施
環境事務局	・ 環境経営レポートの作成 ・ 環境経営レポートの作成活動計画の実働結果のデータ集計 ・ 社内会議の計画・実施 ・ 外部コミュニケーションの窓口
各部門	・ 工事現場の二酸化炭素排出量の削減に努める ・ ボランティア活動の推進 ・ 経営環境の重要性の理解と計画の遂行 ・ 資材の適切な管理 ・ 実施結果を表す書類・伝票の整理

5. 環境経営目標

(2023年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.6-2021.5	2023年度 目標 2023.7-2024.6
売上高		百万円	250	275
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,682	6,600
	原単位	(ℓ/百万円)	27	24
軽油使用量	総量	(ℓ)	30,146	30,000
	原単位	(ℓ/百万円)	121	109
灯油使用量	総量	(ℓ)	193	180
	原単位	(ℓ/百万円)	1	0.7
LPG使用量	総量	(kg)	0	940
	原単位	(kg/百万円)	0	3.4
電力使用量	総量	(kWh)	25,688	25,000
	原単位	(kWh/百万円)	103	90.9
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	108,587	10,800
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	434	393
用水使用量	総量	(m ³)	488	480
	原単位	(m ³ /百万円)	2	1.7
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	100	95
	原単位	(kg/百万円)	0.4	0.3
産業廃棄物排出量	総量	(t)	278.7	270
	原単位	(t/百万円)	1	0.98
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	96	97
グリーン購入	総量	(%)	42	39
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100% (35件/35件)	100
環境美化活動	総量	(回)	10	10

* 1. 電力のCO₂ 排出係数令和5年度5月26日公表の四国電力の調整排出後係数0.532Kg-CO₂/kWhを使用した。
(メニューC(残渣))

* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

* 3. 環境負荷の少ない工事

○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○濁水防止対策の実施

* 4. 環境負荷の少ない工事は元請けを対象とする。

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2020年度 実績(基準年)	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
売上高		百万円	250	280	285	290
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6682	6,500	6,400	6,300
	原単位	(ℓ/百万円)	27	23	22	21
軽油使用量	総量	(ℓ)	30146	29,500	29,000	28,500
	原単位	(ℓ/百万円)	121	105	102	98
灯油使用量	総量	(ℓ)	193	179	178	177
	原単位	(ℓ/百万円)	0.77	0.64	0.62	0.61
LPG使用量	総量	(kg)	0	930	920	910
	原単位	(kg/百万円)	0	3.3	3.2	3.1
電力使用量	総量	(kWh)	25,688	24,500	24,000	23,500
	原単位	(kWh/百万円)	102.752	88	84	81
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	108,587	107,000	106,000	105,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	434.348	382	372	362
用水使用量	総量	(m ³)	488	470	460	450
	原単位	(m ³ /百万円)	1.952	1.68	1.61	1.55
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	100	93	93	93
	原単位	(kg/百万円)	0.4	0.3	0.3	0.3
産業廃棄物排出量	総量	(t)	278.7	265	260	250
	原単位	(t/百万円)	1.1148	0.95	0.91	0.86
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	96	97	97	97
グリーン購入	総量	(%)	42	39	39	39
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100% (35件/35件)	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	10

6. 環境経営計画

期間：2023年7月 ～ 2024年6月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	○重機、車両のアイドリングストップ	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
		○運転中は可能な限り自然涼風をとりいれる	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
		○最大積載量をしっかり守り車両に負担をかけない	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
		○発進時ふんわりスタート走行	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
	電力使用量削減	○外出時は必ず消灯すること	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
		○パソコンは省エネモードにし外出時は主電源を切る事	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
		○空調温度の適正化(冷房27℃暖房22℃)	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
		○エアコンの清掃は試用期間終了後必ず実施	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
		○昼休みはどんな場合でも消灯すること	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
用水使用量削減 (排水量削減)		○節水活動の推進	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
		○定期的に水漏れチェックをする	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
廃棄物削減	一般廃棄物	○社内資料は使用済みの裏面を利用する	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
		○空き缶・ペットボトル等はリサイクルにまわす	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
	産業廃棄物	○マニフェストにより適正処理し業者に引き渡す	有田紀志子	2023. 7.～2024. 6
		○無駄遣いを省いた購入計画	有田紀志子	2023. 7.～2024. 6
		○廃棄物の減量化、有用な物を再利用・再資源化	有田紀志子	2023. 7.～2024. 6
		○ゴミの分別の徹底	有田紀志子	2023. 7.～2024. 6
グリーン購入		○エコマーク商品(文房具等)の優先購入	有田紀志子	2023. 7.～2024. 6
		○詰め替え製品がある場合は優先購入	有田紀志子	2023. 7.～2024. 6
		○使用済みカートリッジのリサイクル	有田紀志子	2023. 7.～2024. 6
環境負荷の少ない工事		○低振動・低騒音型機械の推進	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
		○間伐材など再生資源の使用	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
		○環境配慮型新工法の導入	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
地域貢献活動		○ロードボランティア活動の推進	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6
		○事務所や現場周辺の美化活動の推進	有田圭吾	2023. 7.～2024. 6

7. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.7-2021.6	2023年度 目標 2023.7-2024.6	2023年度 実績 2023.7-2024.6	実績値/目標値 (%)	評価
売上高		百万円	250	275	130	47	
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,682	6600	6,775	103	×
	原単位	(ℓ/百万円)	26.728	24	52		
軽油使用量	総量	(ℓ)	30,146	30,000	30,778	102.59	×
	原単位	(ℓ/百万円)	120.584	109	237		
灯油使用量	総量	(ℓ)	193	180	0	0	○
	原単位	(ℓ/百万円)	0.772	0.7	0	0	
LPG使用量	総量	(kg)	0	940	84.8	9.0	○
	原単位	(kg/百万円)	0	3.4	0.65		
電力使用量	総量	(kWh)	25,688	25,000	15,193	60.8	○
	原単位	(kWh/百万円)	108.587	90.9	117		
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	103,157	108,000	103,461	96.69	○
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	412.628	393	796		
用水使用量	総量	(m ³)	488	480	149	31	○
	原単位	(m ³ /百万円)	1.952	1.7	1.1		
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	100	95	91	96	○
	原単位	(kg/百万円)	0.4	0.3	0.7		
産業廃棄物排出量	総量	(t)	279	270	299	111	○
	原単位	(t/百万円)	1	0.98	2.3		
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	96	97	100		○
グリーン購入量	総量	(%)	42	39	69	177	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	35	100	84		○
環境美化活動	総量	(回)	100%(35件/35件)	100	100%(82件/82件)		○

* 1. 購入電力のCO₂排出係数令和5年5月26日公表の四国電力の調整排出係数0.532Kg-CO₂/kWhを使用した。(メニューC(残渣))

* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

* 3. 環境負荷の少ない工事

- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 環境負荷の少ない材料(リサイクル製品、県産品等)の使用
- 型枠、工事看板への間伐材の使用
- 濁水防止対策の実施

* 4. 環境負荷の少ない工事は元請け工事を対象とする。

* 評価は、「○」、「△」、「×」で評価する。

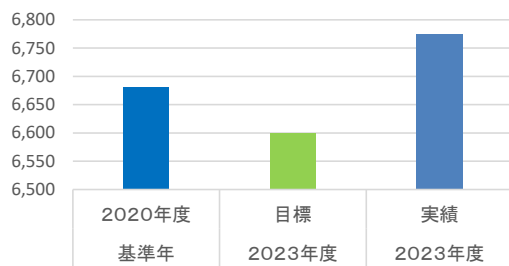
<環境経営目標未達成等理由>

ガソリン：軽油 工事現場2件で水中ポンプ、重機使用及びダンプの使用量が多かった為増加した。

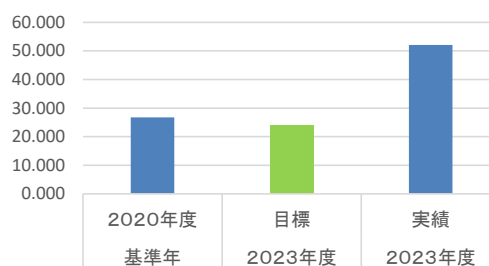
<過去の実績>

項目	総量・原単位	単位	2020年度 実績(基準年)	2018年度 実績	2019年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績
売上高		百万円	250	155	186	319	265
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,682	6,653	6,550	7,298	8,674
	原単位	(ℓ/百万円)	26.728	42.923	35.215	22.878	32.732
軽油使用量	総量	(ℓ)	30,146	19,741	30,786	45,469	16,321
	原単位	(ℓ/百万円)	120.584	127.361	165.516	142.536	140.000
灯油使用量	総量	(ℓ)	193	4,230	0	64	0
	原単位	(ℓ/百万円)	0.772	27.29	0	0.201	0
LPG使用量	総量	(kg)	0	0	0	949	491
	原単位	(kg/百万円)	0	0	0	3.0	1.9
電力使用量	総量	(kWh)	25,688	12,682	12,059	29,118	24,862
	原単位	(kWh/百万円)	102.752	81.819	64.833	91.279	93.819
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	103,157	84,538	101,035	152,653	76,859
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	412.628	545.406	543.199	478.536	290.034
用水使用量	総量	(m ³)	488	88	49	639	553
	原単位	(m ³ /百万円)	1.952	0.568	0.263	2.003	2.000
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	100	282	309	108	82
	原単位	(kg/百万円)	0.4	1.82	1.66	0.34	0.31
産業廃棄物排出量	総量	(t)	278.7	12.42	341.9	179	500.4
	原単位	(t/百万円)	1.1148	0.08013	1.8382	0.5611	1.89
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	96	100	84	100	100
グリーン購入	総量	(%)	42	32	18	39	39
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(35件/35件)	100%(34件/34件)	100%(59件/59件)	100	100%(82件/82件)
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	10	10

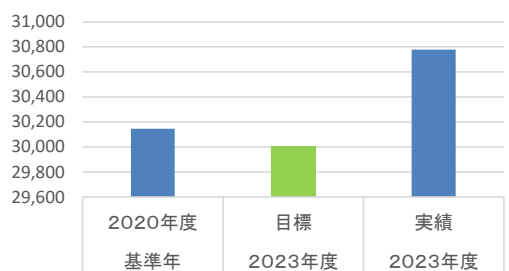
ガソリン使用量 総量 (ℓ)



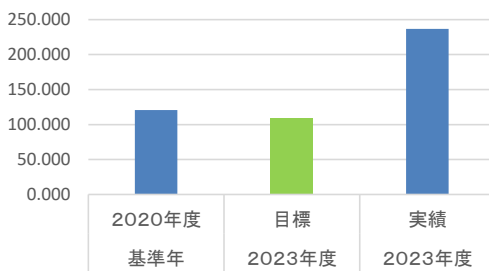
原単位 (ℓ/百万円)



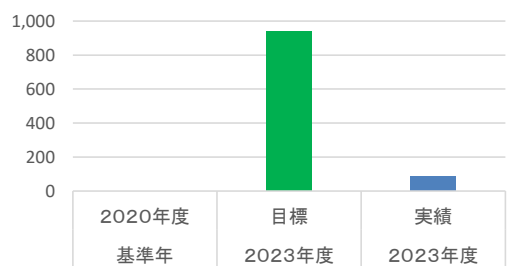
軽油使用量 総量 (ℓ)



原単位 (ℓ/百万円)



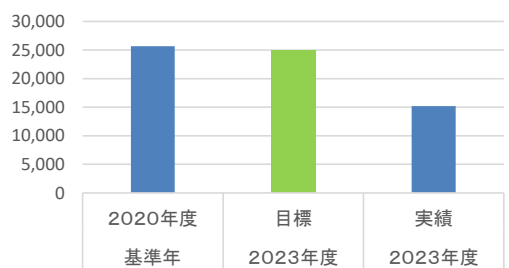
LPG使用量 総量 (kg)



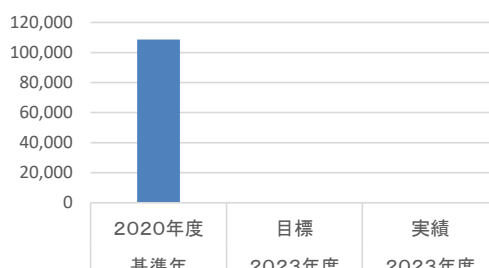
原単位 (kg/百万円)



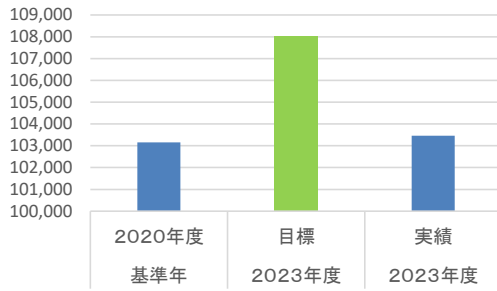
電力使用量 総量 (kWh)



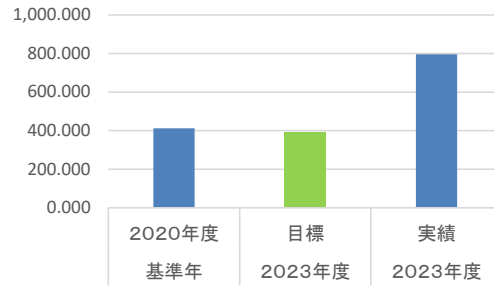
原単位 (kWh/百万円)



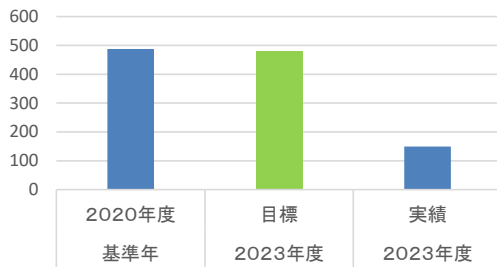
CO2 排出量 総量 (kg-CO2)



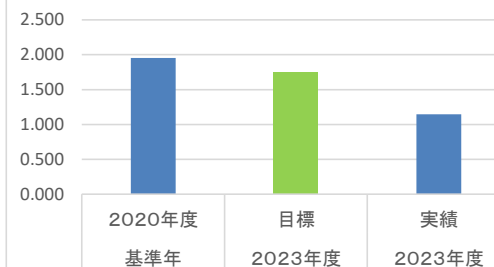
原単位 (kg-CO2/百万円)



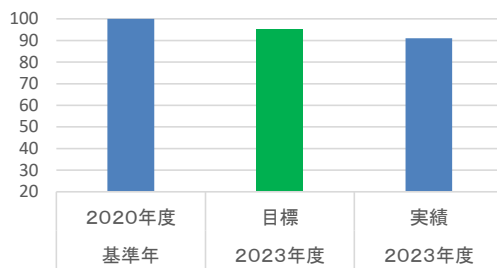
用水使用量 総量 (m3)



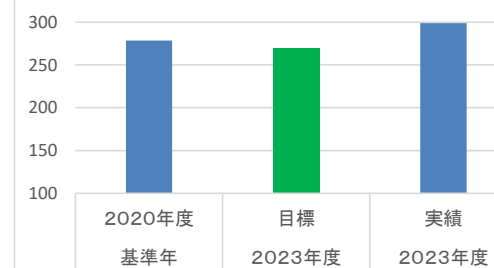
原単位 (m3/百万円)



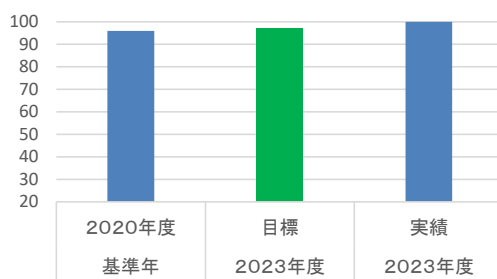
一般廃棄物排出量 総量 (kg)



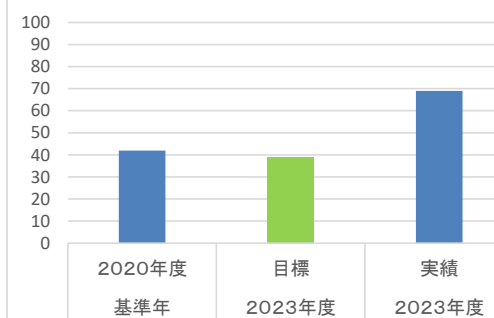
産業廃棄物排出量 総量 (t)



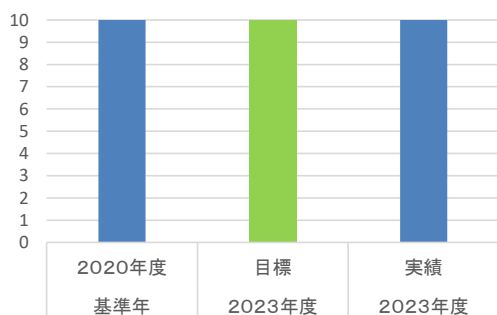
産業廃棄物再資源化率 総量 (%)



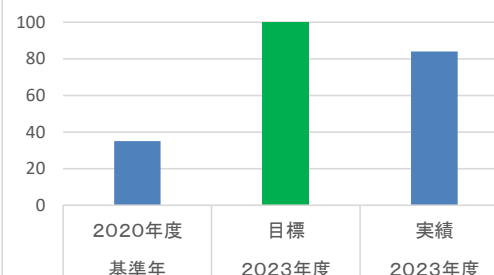
グリーン購入量 総量 (%)



環境美化活動 総量 (回)



環境負荷の少ない工事 総量 (%)



8. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2023年7月 ～ 2024年6月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○重機、車両のアイドリングストップ	・左記の取り組みは意識をして出来ている。 次年度も継続して取り組んで行く。	・問題なく出来ている。	・現状を継続する。
		○運転中は可能な限り自然涼風をとりいれる			
		○最大積載量をしっかり守り車両に負担をかけない			
		○発進時ふんわりスタート走行			
	電力使用量 削減	○外出時は必ず消灯すること	・良くできている。次年度も継続して取り組んで行く。	・問題なく出来ている。	・現状を継続する。
		○パソコンは省エネモードにし外出時は必ず消灯すること			
		○空調温度の適正化(冷房27℃暖房22℃)			
		○エアコンの清掃は試用期間終了後必ず実施			
		○昼休みはどんな場合でも消灯すること			
	用水使用量削減 (排水量削減)		○節水活動の推進	・定期的な点検をし無駄な水の縮減をはかりました。 ・現場では自然水の活用により節水が出来た。	・問題なく出来ている。
		○定期的に水漏れチェックをする			
廃棄物削減	一般廃棄物	○社内資料は使用済みの裏面を利用する	・社内資料は使用済みの裏面を利用した両面コピーをするなど廃棄物の削減を心がけました。	・問題なく出来ている。	・現状を継続する。
		○空き缶・ペットボトル等はリサイクルにまわす			
	産業廃棄物	○マニフェストにより適正処理し業者に引き渡す	・各現場で適正に分別処分し管理が出来ていたの 次年度も継続して行っていく。	・問題なく出来ている。	・現状を継続する。
		○無駄を省いた購入計画			
		廃棄物の減量化、有用な物を再利用・再資源化			
		○ゴミの分別の徹底			
グリーン購入		○エコマーク商品(文房具等)の優先購入	・優先して購入ができている。 今後も継続して行っていく。	・問題なく出来ている。	・現状を継続する。
		○詰め替え製品がある場合は優先購入			
		○使用済みカートリッジのリサイクル			
環境負荷の少ない工事		○低振動・低騒音型機械の推進	・低騒音の機械の使用を徹底している。 次年度も継続して行っていく。	・問題なく出来ている。	・現状を継続する。
		○間伐材など再生資源の使用			
		○環境配慮型新工法の導入			
地域貢献活動		○ロードボランティア活動の推進	・良くできている。 今後も継続して行っていく。	・問題なく出来ている。	・現状を継続する。
		○事務所や現場周辺の美化活動の推進			

9. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

(1) 単年度目標

(2024年度目標)

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.7-2021.6	2024年度 目標 2024.7-2025.6
売上高		百万円	250	275
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,682	6,400
	原単位	(ℓ/百万円)	27	23
軽油使用量	総量	(ℓ)	30,146	29,000
	原単位	(ℓ/百万円)	121	105
灯油使用量	総量	(ℓ)	193	178
	原単位	(ℓ/百万円)	0.8	0.6
LPG使用量	総量	(kg)	0	920
	原単位	(kg/百万円)	0	3
電力使用量	総量	(kWh)	25,688	24,000
	原単位	(kWh/百万円)	103	87
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	108,587	10,600
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	434	39
用水使用量	総量	(m ³)	488	460
	原単位	(m ³ /百万円)	2	2
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	100	92
	原単位	(kg/百万円)	0.4	0.3
産業廃棄物排出量	総量	(t)	278.7	260
	原単位	(t/百万円)	1	0.9
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	96	97
グリーン購入	総量	(%)	42	39
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(35件/35件)	100%
環境美化活動	総量	(回)	10	10

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係は令和5年度5月26日公表の四国電力の調整後排出係数0.532 (kg-CO₂ /kWh) を使用した。

* 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合 (%)

* 3. 環境負荷の少ない工事

- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用
- 型枠、工事看板への間伐材の使用
- 濁水防止対策の実施

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2020年度 実績（基準年）	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
売上高		百万円	250	285	290	295
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	6,682	6,400	6300	6,200
	原単位	(ℓ/百万円)	27	22	22	20
軽油使用量	総量	(ℓ)	30,146	29,000	28500	28,000
	原単位	(ℓ/百万円)	121	102	98.3	94.9
灯油使用量	総量	(ℓ)	193	178	177	176
	原単位	(ℓ/百万円)	0.8	0.6	0.6	0.5
LPG使用量	総量	(kg)	0	920	910	900
	原単位	(kg/百万円)	0	3.228	3.138	3.051
電力使用量	総量	(kWh)	25,688	24,000	23,500	23,000
	原単位	(kWh/百万円)	103	84	81.0	78.0
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	108,587	105,000	104,000	103,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	434	368	359	349
用水使用量	総量	(m ³)	488	460	450	440
	原単位	(m ³ /百万円)	1.95	1.61	1.55	1.49
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	100	93	93	93
	原単位	(kg/百万円)	0.4	0.3	0.3	0.3
産業廃棄物排出量	総量	(t)	278.7	260	250	240
	原単位	(t/百万円)	1.11	0.91	0.86	0.81
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	97	97	97	98
グリーン購入	総量	(%)	42	44	45	46
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100%(35件/35件)	100%	100%	100%
環境美化活動	総量	(回)	10	10	10	10

次年度の取組内容
(2) 環境経営計画

期間：2024年7月 ～ 2025年6月

項目		活動内容	担当者	期間
CO ₂ 排出量 削減	燃料使用量 削減	○重機、車両のアイドリングストップ	有田圭吾	2024.7～2025.6
		○最大積載量をしっかり守り車両に負担をかけない	有田圭吾	2024.7～2025.6
		○発進時ふんわりスタート走行	有田圭吾	2024.7～2025.6
	電力使用量 削減	○外出時は必ず消灯すること	有田圭吾	2024.7～2025.6
		○パソコンは省エネモードに外出時は主電源をきること	有田圭吾	2024.7～2025.6
		○空調温度の適正化(冷房27℃暖房22℃)	有田圭吾	2024.7～2025.6
		○エアコンの清掃は試用期間終了後必ず実施	有田圭吾	2024.7～2025.6
		○昼休みはどんな場合でも消灯すること	有田圭吾	2024.7～2025.6
用水使用量削減		○節水活動の推進	有田圭吾	2024.7～2025.6
		○定期的に水漏れのチェックをする	有田圭吾	2024.7～2025.6
廃棄物削減	一般廃棄物	○社内資料は使用済みの裏面を利用する	有田圭吾	2024.7～2025.6
		○空き缶・ペットボトル等はリサイクルにまわす	有田圭吾	2024.7～2025.6
	産業廃棄物	○マニフェストにより適正処理し業者に引き渡す	有田紀志子	2024.7～2025.6
		○無駄を省いた購入計画	有田紀志子	2024.7～2025.6
		○廃棄物の減量化、有用な物を再利用・再資源化	有田紀志子	2024.7～2025.6
		ゴミの分別の徹底	有田紀志子	2024.7～2025.6
グリーン購入		○エコマーク商品(文房具等)の優先購入	有田紀志子	2024.7～2025.6
		○つめかえせいひんがある場合は優先購入	有田紀志子	2024.7～2025.6
		○使用済みカートリッジのリサイクル	有田紀志子	2024.7～2025.6
環境負荷の少ない工事		○低振動・低騒音型機械の推進	有田圭吾	2024.7～2025.6
		○間伐材など再生資源の使用	有田圭吾	2024.7～2025.6
		○環境配慮型新工法の導入	有田圭吾	2024.7～2025.6
地域貢献活動		○ロードボランティア活動の推進	有田圭吾	2024.7～2025.6
		○事務所や現場周辺の美化活動	有田圭吾	2024.7～2025.6

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

作成日 2024年7月3日
作成者 浦田純美世

(環境関係法規)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守 状況
廃棄物の処理及び清掃に関する 法律	(事業者の責務) 第3条	事業者の責任に於いて適正処理すること。	排出時	有田圭吾	○
	第3条の2	廃棄物の再生利用によるその減量に努めること。	排出時	有田圭吾	○
	第3条の3	その他国、地方公共団体の廃棄物の施策に協力する事。	排出時	有田圭吾	○
	(産業廃棄物の処理) 第12条	事業の責任に於いて適正処理すること。 産業廃棄物の委託契約。	排出時	有田圭吾	○
	(産業廃棄物の管理表) 第12条の3	産業廃棄物(マニフェスト)の交付。	排出時	有田圭吾	○
	第12条の3の2 第12条3の6	産業処分時管理表(マニフェスト)の保管5年間	排出時	有田圭吾	○
	第12条の3の7	管理表の報告書及び県知事へ提出すること。	年1回6月	有田圭吾	○
建設リサイクル法	(建設業を営む者の責務) 第5条	建設資材廃棄物の抑制に努め廃棄物の再資源化に要する費用の低減に努める事。	工事契約時	有田圭吾	○
	第5条の2 (分別解体実施義務) 第9条	再資源された建設資材の使用に努める事。 対象建設工事については分別解体の実施をすること 解体：床面積80㎡以上	工事契約時	有田圭吾	○
	(対象建設工事の届出) 第10条	対象建設工事は、7日前までに県知事に届出をする事。 解体：①建設物などの構造工事着手の時間及び解体工程の概要 ②建設資材解体体量の見込み	工事契約時	有田圭吾	○
	第16条	再資源化の実施	工事契約時	有田圭吾	○
	第18条	発注者への完了報告(再資源利用実施書・再資源利用促進実施書)	工事契約時	有田圭吾	○
リサイクル法	(業者の等の責務) 第4条	再資源・再生部品の利用に努める事。 土砂、コンクリート、アスファルト、木材等の減量化及びリサイクル	工事契約時	有田圭吾	○
グリーン購入 (環境に低負荷な物品の調達 推進に関する法律)	(業者及び国民の責務) 第5条	事業者及び国民は物品を購入し若しくは借り受け、又は役務の提供を受ける場合は出来る限り環境物品を選択するよう努める事とする。	事務用品 事務機器 購入時	環境 事務局	○
河川法	第26条・27条 第16条5	工作物の新築・土地の掘削の許可 河川に汚水又は排水する場合(1日50㎡以上の場合)	工事契約時	有田圭吾	○
騒音規制法	(特定建設の作業実施の届出) 第14条	建設作業開始7日前までに市長届出する事。	工事契約時	有田圭吾	○
振動規制法	(特定建設の作業実施の届出) 第14条	建設作業開始7日前までに市長届出する事。	工事契約時	有田圭吾	○
高知県環境基本条例	第6条	建設業者は、基本理念に基づき事務活動を行うにあたっては、これに伴って生ずる公害を防止し、又は自然環境を適正に保全するため、必要な措置を講ずる責務を有する。	工事契約時	有田圭吾	○
フロン排出抑制法	第5条	簡易点検実施 重機点検者が3ヶ月に1回点検し記録する。	3ヶ月に 1回	前田弘行	○

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年7月より2024年6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

代表者
有田 功祐

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

☒ 定期見直し
☐ 臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 問題点の是正処置及び予防処置となるものはありませんでした。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 特にありません。 <改善提案>				【環境経営方針】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 ・環境経営方針の見直しはありませんでした。	
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 ・環境経営方針の見直しはありません。 ・環境管理組織体制については、現状を維持する。 ・今後も引き続き削減意識を高く持ち活動する。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)		
電力使用量	○	○	目標計画を継続する		
燃料使用量	×	○	目標計画を継続する		
CO2排出量	○	○	目標計画を継続する		
用水使用量	○	○	目標計画を継続する		
一般廃棄物排出量	○	○	目標計画を継続する		
産業廃棄物排出量	○	○	目標計画を継続する		
グリーン購入	○	○	優先購入を意識していく		
環境負荷の少ない工事	○	○	目標計画を継続する		
地域貢献	○	○	地域清掃ができていた。		
<改善提案>				【その他】 変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無 ・エコアクション21はシステムとして有効に機能している。	
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より ・外部からの苦情及び要望はありませんでした。 ②環境関連法規制等の動向他 ・当社における、環境関連法規の改定の対象となるものはありませんでした。 <改善提案>				【総括】 （環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載） ・計画の取組は十分に出来ている。 法遵守についても違反はなく外部からの苦情、要望はなく問題は ありません。	
代表者が自ら得た情報					

12 具体的な取組状況

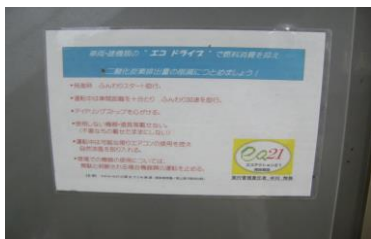
1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



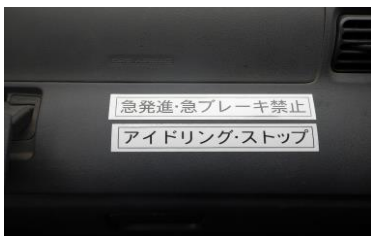
車の相乗りの徹底

工事現場へ行く時は、必ず相乗りで現地に行き、社用車の燃料使用量削減に努めています。



エコドライブの啓発

二酸化炭素排出量の削減に努めています。



急発進・急加速・急停止の禁止

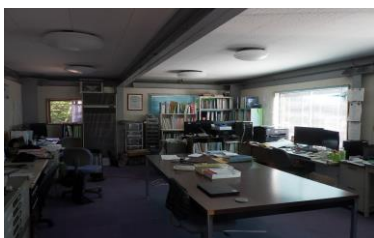
社用車内に「急発進・急加速・急停止の禁止」のシールを貼付

2. 電力使用量削減



昼休みの消灯

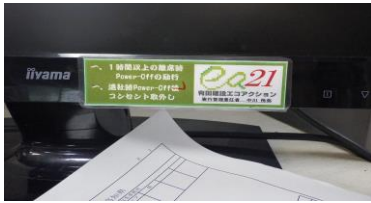
本社事務所の照明を昼休み（12時～13時）消灯し、節電に努めています



昼休みの消灯



パソコン不使用は主電源を切る



3. 用水使用量の削減



節水シール貼付

水道蛇口に節水シールを貼付け、啓発を計っています。

4. 廃棄物の削減

(1) 一般廃棄物の削減



不要紙ごみの分別の徹底

本社事務所内紙ごみの分別箱を設置し、不要紙の再利用を行っています。



リサイクル分別

ビン・空き缶・ペットボトルの分別を徹底しています。

(2) 産業廃棄物



産業廃棄物分別の徹底

産業廃棄物は分別し、有価物と廃棄物に分別し。産業廃棄物再資源化率が向上するように工事現場では努力しています。

5. グリーン購入



グリーン購入促進ステッカー



事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入
事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。

6. 環境負荷の少ない工事



低騒音、排出ガス対策型重機の使用

工事名称: 篠川河川災害復旧工事
工事期間: 2023年11月17日 ~ 2024年4月26日
工事場所: 高知県宿毛市
低騒音、排出ガス対策型重機を工事で使用しました。
工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。



工事看板への高知県産間伐材の使用

工事名称: 伊与野川河川災害復旧工事
工事期間: 2023年11月17日 ~ 2024年6月3日
工事場所: 高知県宿毛市
工事看板には、高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減に努めました。



濁水防止対策の実施

工事名称: 河川環境整備工事工事
工事期間: 2023年12月26日 ~ 2024年2月29日
工事場所: 高知県宿毛市
工事現場から発生する濁水を沈砂池を設置し、きれいな上水のみを排出し、工事場所周辺が汚れないよう努めました。

7. 環境美化活動

ロードボランティア活動

市道宿毛都賀ノ川線のロードボランティア活動を行い清掃活動を行いました。
(2024年6月1日)

